

褥瘡ドレッシング材とは？

ドレッシング材とは、創部の湿潤環境を保ち、創傷に固着しないように作られた近代的な製剤と定義されており、傷を覆う医療用材料のことです。以下ドレッシング剤を使用する目的となっています。

褥瘡に対してドレッシング材を使用する目的



褥瘡ドレッシング材は、傷の状態に応じて適切な湿潤環境を作り、創傷を保護する役割があります。ドレッシング材の適応は、褥瘡の急性期から慢性期、浅い創から深い創までさまざまですが、ここで押さえておきたいポイントは褥瘡感染の有無です。原則**ドレッシング材は、感染のない褥瘡に使用します**。ドレッシング材で感染創を閉鎖すると菌の繁殖が促進されるため、感染の有無は観察の大切なポイントとなります。症状としては、褥瘡部の発赤、熱感、腫脹、膿の排出、悪臭、びらん、水疱、壊死などです。

主な褥瘡ドレッシング材の種類、特徴、使い方



ハイドロコロイド：親水性コロイドと疎水性ポリマーからなるドレッシング材。

特徴：創の浸出液を吸収してゲル状に変化させる。

創部の湿潤環境を保ち、治癒を促進させる。

用途とポイント：肉芽形成期以降の浸出液が少ない創や真皮・皮下組織に至る創に使用。

主な商品目：デュオアクティブ、テガダーム、ハイドロコロイド



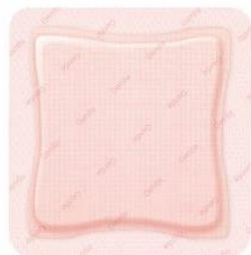
ポリウレタンフィルム:半透明のフィルムに粘着剤を塗布したドレッシング材。

特徴:創部の観察に優れている。水蒸気や酸素透過性に優れている。外部からの水分や細菌の侵入を防ぐことができる。

用途とポイント:発赤や水疱の保護や褥瘡予防に使用する。

浸出液の少ない場合に適応。

主な商品名:エアウォール、カテリテープロール



ポリウレタンフォーム:ポリウレタンフィルム、親水性ポリウレタンフォーム、非固着性ポリウレタンの3層からなるドレッシング材。

特徴:水分吸水に優れており、湿潤環境を保持する。

肉芽形成、上皮形成を促進する。

ゲル状に変化しないことから、創や皮膚にくっつかない。

用途とポイント:浸出液が多い創に適している。

皮下組織、筋や骨に至る創に使用。

主な商品名:ハイドロサイト薄型、ハイドロサイトAD

ここではよく使用されるドレッシング材について説明させていただきました。他にも多くのドレッシング材の種類があり、褥瘡の状態によって使用するドレッシング材を変更していく必要があります。

皮膚トラブル、褥瘡の処置方法で困っている利用者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

空き状況(7月上旬現在)

	月			火			水			木			金		
	Ns	PT	OT	Ns	PT	OT	Ns	PT	OT	Ns	PT	OT	Ns	PT	OT
AM	×	×	×	△	○	×	△	○	×	△	×	×	△	×	×
PM	△	△	○	×	×	△	△	○	△	△	×	△	△	×	△

○:空きあり

△:要相談(時間・場所)

×:空きなし

お問い合わせ先 事業所番号 1166390074

埼玉県日高市高麗川 2-2-10 小岩井ビル 1 階

TEL 042-978-9280 FAX 042-978-9290

営業時間 月～金:8:20～17:20 土日祝祭日休

ホームページ <https://www.nursingstation-purple.com>

【 看護師は状況に応じて土・日・祝 緊急訪問対応可 】

